

株主通信 2015

2014年3月1日 - 2015年2月28日 (第33期)

社是

Company creed

技術で社会に貢献する

We contribute to the society
by providing technical services.

目次

Contents

4. 代表メッセージ
6. 事業概況
8. 第33期の総括
9. 今後の見通し
10. ソーバルの戦略
12. 業績ハイライト
13. 財務諸表
14. 株主優待のご紹介と配当政策
15. 株主情報
16. 会社/株式情報

企業にとって、最大の資源は人材です。



時下、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

企業にとって、最大の資源は人材です。高い意識と技術をもつ人材が充実した環境で働くことが、価値あるテクノロジーを生み出す近道だと、考えております。

私どもは、企業活動に関わる全ての方の満足が、企業価値の向上に繋がるとも考えております。長年、人材開発と教育に投資を続け、高い定着率とともにIT分野の技術革新とその蓄積を続けてまいりました。技術力とそのチャンスを拡大するため、ソーバルでは仕事とプライベートのバランスを大切にす社風を築いてまいりました。

経験豊富な人材を合わせ持つ、国内有数の独立系組込みシステム開発企業と、お客様からも高いご評価をいただいております。分野としては、コンシューマ向け製品から特殊分野で用いられる装置まで多岐に渡り、範囲を見ても、ソフトウェアに留まらず、ハードウェアの研究・試作・量産設計の技術協力など、多様に開発を展開しております。昨今では、さらに技術の幅を広げ、業務システムやウェブシステム開発にも力を入れており、マルチレイヤーのシステム開発をワンストップ受注できる体制を確立いたしました。また主体のエンジニアリング事業をより充実させつつ、ソーバルのさらなる発展に寄与する取り組みに力を入れております。

2015年5月1日付で、車載システム開発、生産ラインや物流搬送設備等の制御システム等に強みを持つアンドールシステムサポート株式会社を子会社化いたしました。これにより、エンジニアリング事業のさらなる拡大を図ってまいります。

さらに、経営体制の若返りと一層の強化を目指すため、株主様と取締役会の総意を得て、代表取締役会長に就任いたしました。なお、代表取締役副社長であった推津敦が代表取締役副会長兼CEOに、後任の取締役社長には、専務取締役であった稲葉勝巳が就任いたしましたので、今後とも私同様、よろしくご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

1983年創業以来の、「技術で社会に貢献する」というソーバルの理念は、今後も変わらず貫いてまいります。社会との結びつきとして、技術だけではなく様々なボランティア活動など、社会に愛され、貢献できる姿を描き、成長してまいります。ソーバルはすべてのステークホルダーの皆様から、より一層の信頼の獲得と、期待に応えるべく、全社一丸となって邁進してまいります。

今後とも、変わらぬご支援とより一層のご鞭撻を賜ります様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

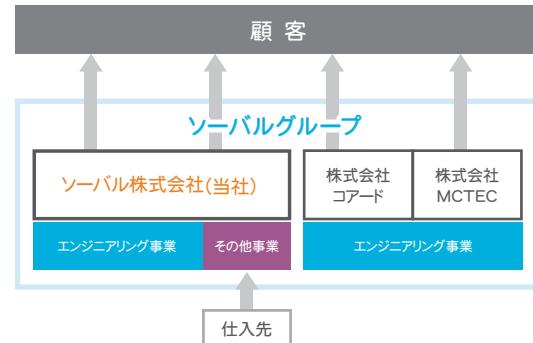
ソーバル株式会社 代表取締役会長

推津 順一

ソーバルグループの事業

当社グループ（当社及び当社の関連子会社）は、当社及び子会社2社で構成されており、ファームウェア、ソフトウェア並びにハードウェアの開発及び評価に関するサービスを提供するエンジニアリング事業を主な事業として展開しております。

また、その他事業として「RFID」分野に関する製品の開発、製造、販売及びソリューションの提供及びネット関連事業を行ってまいりました。

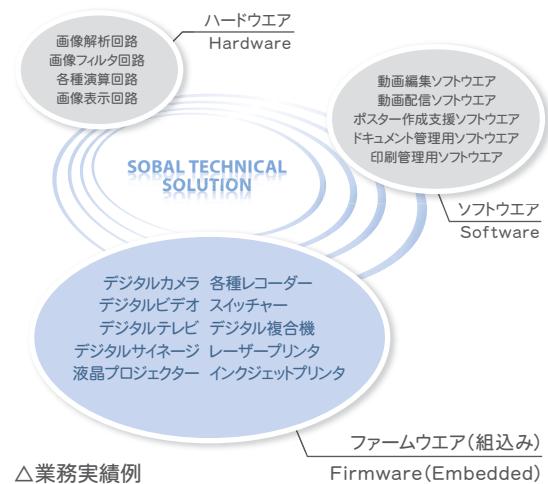


エンジニアリング事業

主として、デジタル製品メーカーに対し、ファームウェア、ソフトウェア並びにハードウェアの「開発」を支援するサービスを提供しております。同時に、開発中の試作品の不具合や仕様誤りをプログラムレベルで評価・検証したり、生産前の製品の品質評価

をする「評価」サービスも提供しております。また、デジタル製品メーカー以外にも、精密機器や電子機器メーカーに対して、同様の技術支援サービスの提供を行っております。ソフトウェアでは、デジタル製品のアプリケーションツールやドライバの開発のみならず、Webアプリケーションの開発にも携わっております。ハードウェアでは、LSIやDSPの設計・開発、周辺回路設計、さらに構造設計や機構設計の研究・試作・量産設計を開発範囲としております。

併せて、組込みソフト開発において培われた技術基盤により、製品開発コスト管理支援ソリューション、組込みシステム設計支援ソリューション、SoC設計支援ソリューション、ソフトウェア製品化支援ソリューション、基板装置試作・量産支援ソリューション等の各種コンサルテーションを提供しております。



△業務実績例

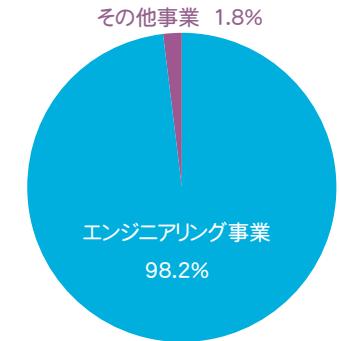
その他事業 (RFID事業、ネット関連事業)

その他事業として現在、「RFID」製品の開発、製造、販売及びネット関連事業を展開しております。

「RFID」は、電波及び電磁誘導方式を用いた非接触型の自動認識技術であり、電子マネーや物流・在庫管理等の分野において利用されております。

なお、RFID事業につきましては、2015年3月31日付で株式会社アートファイネックスに事業譲渡いたしました。

▽セグメント別売上高内訳



第33期のセグメント別業績概要

エンジニアリング事業

従来から得意とする組込み系の開発はもとより、業務系システムの案件や、急速に拡大しているスマートフォンやタブレット、クラウド関連の案件など様々なサービスに関する開発案件を受注してまいりました。

これらの結果、エンジニアリング事業の売上高は6,798百万円(前年同期比4.4%増)となりました。



その他事業 (RFID事業、ネット関連事業)

昨年に引き続き、電波法改正に関する機器の置換が進み、その結果、その他事業の売上高は121百万円(前年同期比7.4%増)となりました。



第33期の総括

Summary of the 33th term

当連結会計年度におけるわが国の経済は、消費増税の影響による個人消費の伸び悩みはあったものの、政府や日本銀行の各種政策の効果などから輸出関連企業を中心とした収益の改善が進みました。また、IT投資を含む各種設備投資が増加するとともに、雇用情勢の好転も見られ国内景気は緩やかな改善が続いております。一方、海外におきましては米国経済は堅調に推移しているものの、新興国の経済成長の鈍化、欧州ではギリシャの債務問題やウクライナ危機等の不安定要素を抱え、不透明感が払拭できない状況でございます。

このような経済環境の中、当社グループにおきましては、お客さまからの高いニーズに応えるべく優秀な技術者の育成に力を入れるとともに、本社移転による作業の効率化及び情報共有の徹底を推し進めてまいりました。

利益面に関しましては、予算に組み込んでおりませんでした第2四半期連結会計期間に発生した本社移転費用48百万円を吸収した上でも前年同期及び予算を上回ることができ、堅調に推移いたしました。

なお、従業員への福利厚生の一環として厚生年金基金「関東ITソフトウェア厚生年金基金」に加入しておりましたが、将来的な運用環境等を勘案し財務面に与える影響を軽減すべく2015年2月28日付にて脱退いたしました。この脱退に伴い発生した厚生年金基金脱退損失38百万円を特別損失として計上いたしました。

以上により、当社グループの売上高は6,920百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は551百万円（同6.4%増）、経常利益は560百万円（同8.5%増）、当期純利益は333百万円（同10.3%増）となりました。

	2014年2月期 (第32期) (連結)	2015年2月期 (第33期) (連結)	前年同期 増減比
売上高 (百万円)	6,625	6,920	4.5% ↑
営業利益 (百万円)	518	551	6.4% ↑
経常利益 (百万円)	516	560	8.5% ↑
当期純利益 (百万円)	302	333	10.3% ↑
総資産 (百万円)	3,167	3,557	12.3% ↑
純資産 (百万円)	2,433	2,518	3.5% ↑
一株当たり 当期純利益 (円)	69.53	77.30	11.2% ↑
一株当たり 純資産 (円)	559.59	599.57	7.1% ↑
一株当たり 配当金 (円)	21.00	31.00	47.6% ↑

今後の見通し

Future Prospects

第34期の展望

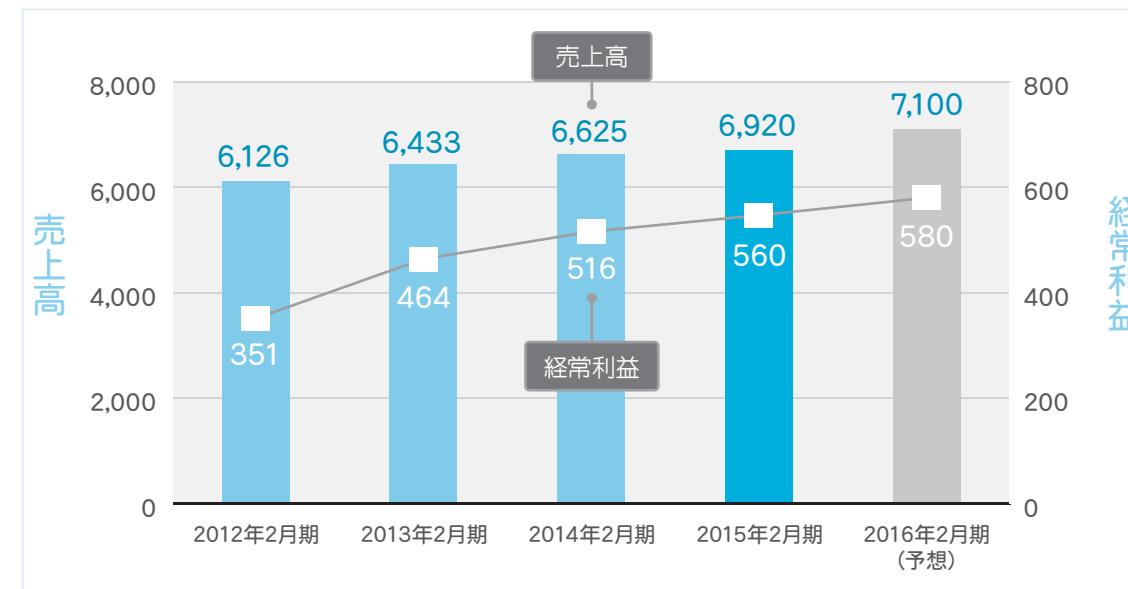
今後のIT業界は、組込み開発をはじめ、各種開発案件の需要において引続き順調に推移していくものと思われれます。このような環境で、当社グループといたしましてはM&Aを積極的に行うとともに、顧客からのニーズに的確に応えるべく、より一層の営業活動を行い受注獲得を目指してまいります。また、そのための人材育成、特にプロジェクトマネージャーやプロジェクトリーダー、並びに優秀な社員の採用等に関する先行投資も必要不可欠となっており、そのための各種施策を積極的に実施してまいります。

以上により、2016年2月期の通期の業績予想は、売上高7,100百万円、営業利益580百万円、経常利益580百万円、当期純利益350百万円を見込んでおります。

また、車載システム開発、生産ラインや物流搬送設備等の制御システム等に強みを持つアンドールシステムサポート株式会社を2015年5月1日付で子会社化し、エンジニアリング事業のさらなる拡大を予定しております。

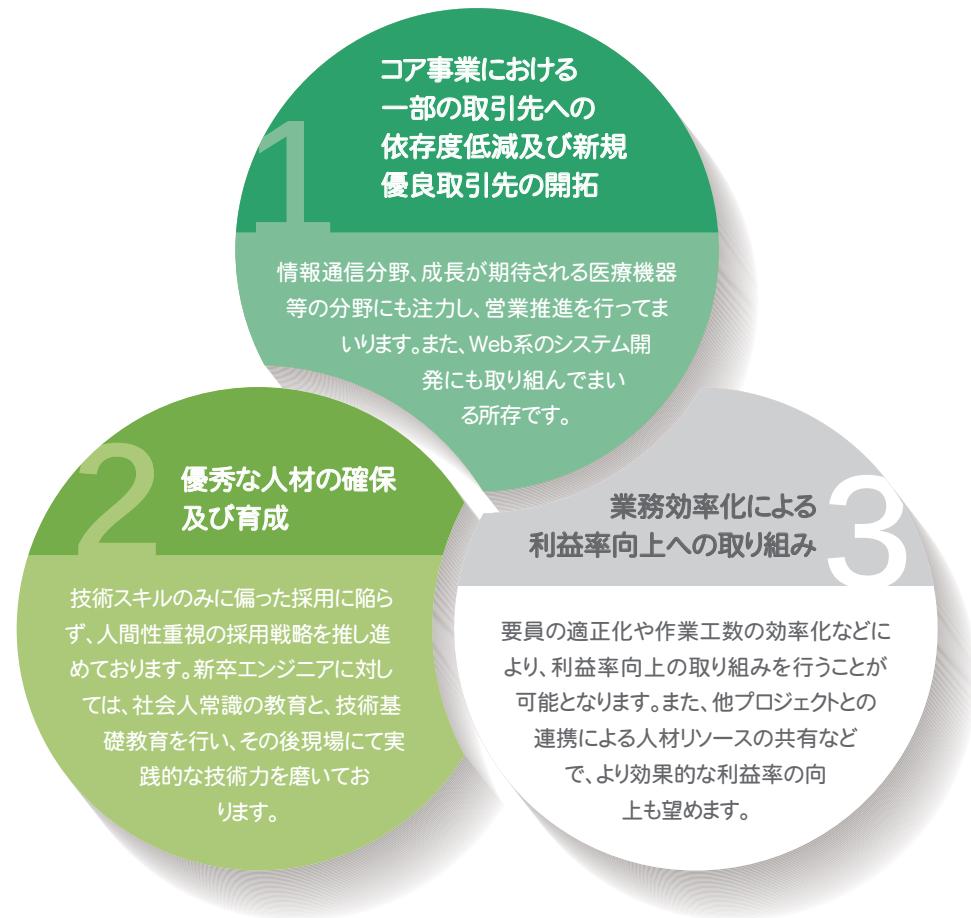
なお、予想当時はアンドールシステムサポート株式会社は子会社化前であるため、同社の業績予想は当社グループの次期連結業績予想には含んでおりません。

▽売上高、経常利益の推移予想(連結)(百万円)



中長期的な会社の経営戦略及び対処すべき課題

当社グループは、主としてファームウェア、ソフトウェア並びにハードウェアの開発とその製品の評価に関するサービスを提供しております。当社グループの主要取引先が属する業界においては、顧客企業におけるエンジニアに対するニーズと競合他社との差別化の観点から、支援する技術品質の安定的な向上とともに、以下の3点を重要課題として取り組んでまいります。



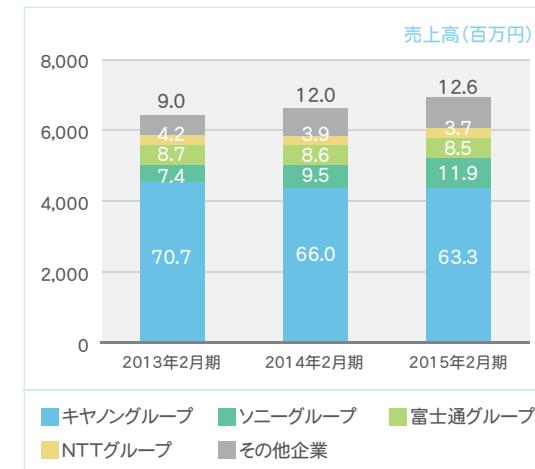
取引先の状況について

当社グループの売上高は、特定顧客への依存度が高く、当連結会計年度における売上高比率はキャノングループが63.3%を占めており、経営の健全性確保の観点からキャノングループへの売上の拡大を図りつつ、他社への売上をそれ以上に伸ばさせていくことによって依存度をより低減させることが、以後の安定した経営を進める上で非常に重要な経営課題であると認識しております。

この経営課題への取り組みとして、新規優良取引先の開拓は必須であり、積極的に営業活動を推進しております。

また、M&Aの実施による顧客獲得も考慮し、戦略的に顧客獲得に取り組んでまいります。

▽取引先別比率(連結)(%)



お客様の信頼を得るために

ソーバルでは、自社の技術力維持や雇用の安定のため、業務を担当するエンジニアの大半がソーバルの正社員です。

技術の蓄積、コンプライアンス教育、漏えい防止のための安全対策など、長期的な視野での教育も可能となり、お客様から高い安心と信頼を得られております。



高い安心感と信頼感

業績ハイライト

Financial Highlights



※1 2011年11月1日付で当社普通株式1株につき、2株の分割を行っております。一株当たり情報に関しては、過去に遡って株式分割等に伴う調整計算を行い記載しております。

財務諸表

Financial Statements

損益計算書

(単位：百万円)

科目	2014年 2月期 (連結)	2015年 2月期 (連結)
売上高	6,625	6,920
売上原価	5,276	5,475
売上総利益	1,348	1,444
販売費及び一般管理費	830	892
営業利益	518	551
営業外収益	6	11
営業外費用	7	2
経常利益	516	560
特別損失※2	—	41
税金等調整前当期純利益	516	518
法人税、住民税及び事業税	222	213
法人税等調整額	△7	△27
法人税等合計	214	185
少数株主損益調整前当期純利益	302	333
当期純利益	302	333

※2 投資有価証券評価損2百万円、厚生年金基金退損損失38百万円の合計となります。

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	2014年 2月期 (連結)	2015年 2月期 (連結)
(資産の部)		
流動資産	2,704	2,984
固定資産	462	572
資産合計	3,167	3,557
(負債の部)		
流動負債	571	860
固定負債	162	178
負債合計	733	1,038
(純資産の部)		
株主資本	2,433	2,518
純資産合計	2,433	2,518
負債純資産合計	3,167	3,557

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	2014年 2月期 (連結)	2015年 2月期 (連結)
営業活動によるキャッシュ・フロー	284	700
投資活動によるキャッシュ・フロー	△204	△246
財務活動によるキャッシュ・フロー	△73	△248
現金及び現金同等物の増減額	7	206
現金及び現金同等物の期首残高	1,469	1,477
現金及び現金同等物の期末残高	1,477	1,683

株主優待のご紹介と配当政策

Stockholder special benefit plan and Dividend policy

2015年2月期の株主優待の内容

8月末現在で1単元（100株）以上の株式を保有する株主様に対し、株主優待制度としてQUOカードを優待ギフトとして贈呈いたしました。

優待内容	1単元（100株）以上5単元（500株）未満の株式を保有する株主様に対し、500円相当のQUOカードを贈呈
	5単元（500株）以上の株式を保有する株主様に対し、2,000円相当のQUOカードを贈呈
実施回数	年1回
発送方法	中間決算関係書類の中に同梱



剰余金の配当について

当社は、株主の皆様への利益還元を経営課題の一つとして考え、企業価値の増大に努めてまいりました。

株主の皆様への最大の利益還元は、業容拡大と企業価値の長期的最大化であると考えており、株主配当による利益還元について、当社において将来可能性がある企業買収や設備投資、研究開発等のための内部留保の充実を図りながら、安定的かつ継続的に増加させていきたいと考えております。

(単位:円)	一株当たり配当金			配当性向
	第2四半期末	期末	年間	
2016年2月期(予想)	19.00	19.00	38.00	45.6%
2015年2月期(連結)	13.00	18.00	31.00	40.1%
2014年2月期(連結)	8.00	13.00	21.00	30.2%
2013年2月期(連結)	8.00	9.00	17.00	29.9%
2012年2月期(連結)	5.00*	8.00	13.00*	31.0%

※ 2011年11月1日付で当社普通株式1株につき、2株の分割を行っております。一株当たり情報に関しては、過去に遡って株式分割等に伴う調整計算を行い記載しております。

株主情報

Stockholder information

株式基本情報

(2015年2月28日現在)

証券コード	2186
上場市場	株式会社東京証券取引所 ジャスダック市場
事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
期末配当支払株主確定日	2月末日
中間配当支払株主確定日	8月31日
株主総会	毎年5月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
発行可能株式総数	14,800,000株
発行済株式総数	4,200,800株
株主数	4,546名
公告方法	電子公告 (事故その他やむを得ない事由が生じ、電子公告を行うことができない場合には、日本経済新聞に掲載します)

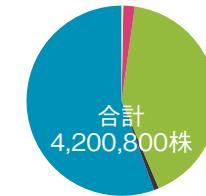
株主数推移



株式分布状況

(2015年2月28日現在)

所有者別情報



政府及び地方公共団体	0.00%
金融機関	0.11%
金融商品取引業者	2.00%
その他の法人	41.83%
外国法人等個人以外	0.44%
外国法人等個人	0.00%
個人・その他	55.62%
自己名義株式	0.00%

所有株式数別情報



10単元未満	93.02%
50単元未満	6.31%
100単元未満	0.37%
500単元未満	0.20%
1,000単元未満	0.00%
1,000単元以上	0.10%

大株主

(2015年2月28日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
エバーコア株式会社	1,740,000	41.4
ソーバル従業員持株会	591,600	14.1
川下 奈々	188,720	4.5
推津 敦	188,720	4.5
株式会社SBI証券	39,800	0.9
善生 宏隆	20,500	0.5
推津 順一	20,040	0.5
推津 幸子	20,020	0.5
福島 則光	20,000	0.5
和田 位	15,800	0.4

※ 持株比率は、自己株式数(3株)を控除して計算しております。

会社/株式情報

Company and Stock information

会社概要

(2015年4月1日現在)

社名	ソーバル株式会社
設立	1983年1月
本社所在地*	〒141-0001 東京都品川区北品川5-9-11 大崎MTビル
資本金	213百万円
事業内容	エンジニアリング事業 ・ソフトウェア・ハードウェアの設計開発 ・第三者検証 ・マニュアル制作
従業員数	連結：971名 単体：885名
ホームページ アドレス	http://www.sobal.co.jp/

* 2014年6月1日付で、本社を東京都大田区から東京都品川区に移転しました。

株式手続き

住所・氏名・振込口座などの変更について

ご住所の変更や配当金の受取り方法等、株式に関する手続きのお問合せ先は下記をご参照ください。

一般口座を ご利用の株主様	お取引先の証券会社 お取引先の証券会社までお問合せください。
特別口座を ご利用の株主様	三菱UFJ信託銀行株式会社（証券代行部） 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話番号：0120-232-711 受付時間：9:00～17:00（土日祝休み） URL： http://www.tr.mufg.jp/daikou/

役員紹介

(2015年5月27日現在)

取締役会	代表取締役会長	推津 順一
	代表取締役副会長 兼CEO	推津 敦
	取締役社長	稲葉 勝巳
	専務取締役	河原 浩一
	常勤監査役	吉岡 秀勝
	監査役 (弁護士)	嶋田 雅弘
	監査役 (公認会計士)	吉田 光一郎

執行役員	岩崎 恭治
	井上 一幸
	新居見 憲治
	西岡 建太
	大久保 仁美
	古屋 繁之
	杉山 義雄
	宮澤 克行
	両瀬 賢一
	山林 敬
猪狩 安広	
伊藤 光男	
島谷 裕一	
東谷 正雄	

株式に関するお問合せ先


 ソーバル株式会社
IR担当窓口
 〒141-0001 東京都品川区北品川5-9-11 大崎MTビル
TEL: 03-6409-6138 (受付時間 平日 9:00～16:30)
 IRサイトアドレス：<http://www.sobal.co.jp/ir/>